

第23回 ちゅうでん教育振興助成（2023年度）

小・中学校の部 報告書資料

学校名・団体名	明石市立松が丘小学校
コース	学校支援コース
活動・研究のテーマ	ありがとうがつながるコミュニティスポットづくり

〈活動・研究の意義および活動報告〉

1 活動に至る経緯

本校はコミュニティスクールを生かした教育に力を入れ、子ども、教師、保護者、地域の方々、皆が共に育つ学校をめざしてきた。

昨年度、第1学年がガーデンづくりに着手し、コミュニティが広がるスポット、「コミュニティスポット」を作ること 시작했다。保護者の参加が見られ、開かれた教育課程の実現に一步進むことができた。

しかし、プランターを使ったガーデンに留まり、人が集まるスポットとしては実現しなかった。

他にも、ピアノがあるにも関わらず調律ができなかったり、ブックスポットがあるにも関わらず狭い部屋に限定されていたりと、多くの課題が残っていた。

そこで、人が集まるコミュニティスポットを学校に新たに創っていきたいという願いから、本研究助成を希望した。

2 活動・研究の目的

学校、家庭、地域、大学、企業が協働、連携する社会に開かれた教育課程を実現させながら、異世代交流の場づくり、互いに生きがいを感じられる居場所づくりを進めるため、学校に「コミュニティスポット」をつくることを目的とした。

「コミュニティスポット」の具体として、一緒に花を育てる「サンクスガーデンスポット」、中庭で本を読むことができる「ブックスポット」、ピアノを使ってイベントができる「ピアノスポット」を作り、学校が地域の「ハブ」としての交流拠点になるようにする。

3 活動内容

(1) サンクスガーデンスポットづくり

昨年度に作ったガーデンは、プール裏にあり、人から目につきにくい場所であった。そこで、中庭に新たなガーデンを作ることにした。

ブロックや除草シートを使って、子どもたちや保護者、地域の方々の目に入る位置にガーデンを作った。

そして、最後に、1年生の児童がブロックの周りに絵を描いて完成させた。

今後は、地域でガーデンに取り組んでいる方々と一緒に計画的に花を育てていくことにする予定である。



(2) ブックスポットの拡大

現在のブックスポットは狭い部屋に制限されている。そこで、開放的に本を読めるように、中庭にテーブルセット（机・椅子・パラソル）を配置することにした。

本を読むだけでなく、保護者や地域の方々が来校されたときにも利用できる開放的な空間を作り出すことができた。



(3) ピアノスポットの整備

ピアノの調律を行い、業間や昼休みに使えるようにした。

雨の日には、多くの子どもたちがピアノスポットに集まり、ピアノを弾いて楽しんでいる。異学年の交流が自然に行われている。

また、ミニコンサートを開催し、子どもたちで楽しむことができた。

今後は、保護者や地域の方々を招いて、イベントを行いたい。



ピアノスポット

ブックスポット

ふれあいの池
スポット

ホテルスポット

サンクスガーデン
スポット



4 成果と課題

(1) 成果

本研究助成によって、本校の中庭を中心に「サンクスガーデンスポット」「ピアノスポット」が新たにつながり、これまでのブックスポットも、テーブルセットを配置したことで、外へと広がりをもつようになった。そのおかげで、子どもたちが、靴箱から運動場へ移動するまでにガーデンの花を見たり、ブックスポットの本を外のテーブルに持ち出して読んだりする姿が見られるようになった。また、ピアノスポットが整備されたことで、子どもたちがコンサート会を開く姿も見られるようになった。従前から、中庭ではホテルを育て鑑賞することも可能である。それらをあわせ、子どもたちが年間を通じて様々な交流ができる場をつくることができた。

また、子どもたちだけでなく、保護者や地域の方々が、ブックスポットを利用したり、中庭のテーブルに座って交流したりする姿も見られるようになった。

(2) 課題

本研究助成においてスポットという場をつくることはできた。しかし、利用する多くは子どもたちである。スポットを生かした交流イベントを保護者、地域に広げ、企画、実行していくことが必要である。例えば、読み聞かせ会、ミュージックコンサート、星を見る会、花植え会など、中庭でイベントを定期的に行うことで、交流が盛んになり、真の「コミュニティスポット」へと深化すると考える。また、今回整備したスポットの近くには、PTA 室があり、その部屋を改良し、新たなスポットとして整備していくことで、さらに人が集まる場をつくっていかないと考える。